

# 病理検査部門

## フォトサーベイ

**設問 1** 写真 A～E は、化学品の分類および表示に関する世界調和システム（The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals : GHS）におけるラベル表示（絵表示）です。それぞれのラベル表示の名称，およびその内容について，不適切な組み合わせを以下の選択肢から選択してください。

- ① 写真 A－ドクロ－急性毒性
- ② 写真 B－腐食性－金属腐食性・皮膚腐食性
- ③ 写真 C－炎－可燃性・引火性ガス
- ④ 写真 D－感嘆符－急性毒性・皮膚刺激性
- ⑤ 写真 E－環境－水性環境有毒性

**設問 2** 写真 A～D は手術材料のマクロ写真です。写真 A～D の病理組織診断依頼申込書の「臓器名」，「部位」，「採取方法」を図 a～d に示します。病理組織診断依頼申込書に誤りがあるマクロ写真の組み合わせを，以下の選択肢から選択してください。

図 a：写真 A の病理組織診断依頼申込書<sup>(※)</sup>

図 b：写真 B の病理組織診断依頼申込書

図 c：写真 C の病理組織診断依頼申込書

図 d：写真 D の病理組織診断依頼申込書<sup>(※※)</sup>

<sup>(※)</sup>前壁正中で切開    <sup>(※※)</sup>ESD : Endoscopic Submucosal Dissection    内視鏡的粘膜下層剥離術

- ① A.B.C
- ② A.B.D
- ③ A.C.D
- ④ B.C.D
- ⑤ A～D いずれにも誤りはない

**設問 3** 写真 A は肝臓手術材料のヘマトキシリン・エオジン染色（以下；HE 染色）像で，写真 B，写真 C はその拡大像です。アーチファクトとして最も考えられる原因について，以下の選択肢から選択してください。

材料：手術例ホルマリン固定パラフィン包埋（以下；FFPE）組織

写真 A：HE 染色 対物 4 倍，写真 B：HE 染色 対物 10 倍，写真 C：HE 染色 対物 20 倍

- ① 固定不良
- ② 包埋時のコンタミネーション
- ③ 薄切時のコンタミネーション
- ④ 薄切時の気泡混入

⑤ 薄切時の面出し不良

**設問 4** 写真 A は直腸癌手術材料の HE 染色像で、写真 B、写真 C、写真 D はその拡大像です。アーチファクトとして最も考えられる原因について、以下の選択肢から選択してください。

材料：手術例 FFPE 組織

写真 A：HE 染色 対物 4 倍、写真 B：HE 染色 対物 10 倍

写真 C：HE 染色 対物 20 倍、写真 D：HE 染色 対物 40 倍

- ① ホルマリンによる過固定
- ② 切り出し時の組織の乾燥
- ③ 脱パラフィン不足による染色不良
- ④ 薄切時の伸展不足
- ⑤ ヘマトキシリンの液量不足

**設問 5** 写真 A～E は上行結腸癌の既往がある肝臓手術材料の FFPE ブロックから作製された標本です。写真 A～B は HE 染色像、C～E は免疫組織化学（Immunohistochemistry 以下；IHC）染色像です。B～E は病変部を撮影しています。写真 A～E の染色態度から、原発臓器として最も考えられる臓器を、以下の選択肢から選択してください。

材料：手術例 FFPE 組織

写真 A：HE 染色 対物 20 倍、写真 B：HE 染色 対物 40 倍

写真 C：IHC 法 CK7 染色像 対物 40 倍

写真 D：IHC 法 CK20 染色像 対物 40 倍

写真 E：IHC 法 CDX2 染色像 対物 40 倍

- ① 肝臓
- ② 乳腺
- ③ 大腸
- ④ 前立腺
- ⑤ 腎臓

**設問 6** 写真 A～E は肺癌生検材料の HE 染色像です。抗 PD-L1 抗体の IHC 法を用いたコンパニオン診断を実施するのに最も適切な組織像を、以下の選択肢から選択してください。

写真 A～E：HE 染色 対物 4 倍

材料：生検例 FFPE 組織

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

病理検査部門精度管理担当：遠山 人成

E-mail: tomo.tooyama@gmail.com

：三瓶 祐也

川口市立医療センター

TEL :048-287-2525

E-mail: sampeiyuya7@gmail.com